

ごみの分別再点検

10月はごみ分別強化月間です

クリーンセンター管理課 (☎87・4844)

プラスチック類の分別収集を開始した平成19(2007)年度以降の燃やすごみの量を見ると、開始直後から市民の皆さんのご協力により、約15%の減量となりました(右表参照)。しかし、近年は少し増加しており、さらなる減量化を進める必要があります。

ごみを出すときは、下記を参考にして、ごみの減量化や資源化にご協力ください。また、ごみ袋は透明や半透明のものを使用してください。これは、収集作業の危険予防や中身を確認するためです。市民の皆さんのご協力をお願いします。

宝塚市の燃やすごみ 7年間の推移(単位:トン)
※平成19年度からプラスチック類の分別収集を開始



すぐ実践! ごみ分別5つのポイント

菓子箱はつぶして、紐でしばって紙ごみの日に。



台所ごみは、水分をよく切る。



植木のせん定ごみは、緑のリサイクルセンターへ。



小さなメモなどの紙は、使い古しの封筒に入れるか、チラシや雑誌にはさんで紙ごみの日に出す。



プラスチック容器は、軽く洗ってプラスチックごみの日に出す。



しずおか未来エネルギー(株)の服部社長



サッカースタジアム送迎バス発着場所に設置されたカーポート型太陽光パネル(静岡市)



接着剤を用いて屋根の防水や過重に配慮した工法による太陽光パネル(静岡市)

※視察の詳細については市ホームページへ。

世代の方々や協働で「地域の、地域による、地域のための」再生可能エネルギーの導入を少しずつ進めていきたいと考えています。

本市でも、他市の実践事例を参考に、幅広い分野や、

考えよう! 広めよう! 「新エネルギー」シリーズ

新エネルギー推進課 (☎77・2361)

今月7月、再生可能エネルギー導入推進の先進地である静岡市を視察しました。今号では、同市の先進的な取り組みの一部をご紹介します。

みんなでつくる「地域発電所」

今回訪れた静岡市は、地域を主導とした再生可能エネルギー普及を目指し、市内NPO法人と、地域エネルギー会社を合わせた三者で事業の役割分担を明記した協定書を締結しています。この協定を基に、

「みんなでつくる 宝塚エネルギー」事業

ワークショップ ソーラーキットで電気を手作り

太陽光発電システムを手作りします。作ったものは持ち帰って家庭で利用することができます。

日時 10月14日(祝)13時~16時

場所 南口会館

対象 市内在住または在勤・在学の小学生以上の人(小学生は保護者同伴)

費用 9800円(材料費) **定員** 先着20人

申し込み 10月1日(火)から電話で新エネルギー推進課(☎77・2361)へ。



太陽光発電で「生」オブジェライトアップ



日時 10月14日(祝)19時ごろから
場所 阪急宝塚南口駅近く 武庫川中州

※天候や武庫川の流量、石積みの再現状況によっては点灯できない場合があります。

政策推進課(☎77・2001)